

こ：おじさん、こんにちは。



お：耕太君、久しぶりだね。メール見たけど、自由研究だって？
こ：はい。数学の課題で、自分でテーマを決めて研究してレポートにまとめなくちゃいけないんです。

■ お：全くのノーブランということでもないよね。

こ：はい、1年生のとき、授業でタブレット使ってGeoGebraでグラフ描いたり、図形描いたりしたことがあったから、GeoGebra使って何かやれないかなと思っていて…。

お：数Ⅱの授業は今、どこやってる？

こ：対数関数の終わりあたりかな。

お：微積分がまだだから、関数はちょっとナシだな。とすると、図形か。

■ お：数Aでやった三角形の5心って、覚えてるよね。

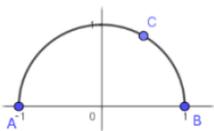
こ：ええと、外心、内心、重心、垂心、そして傍心だったかな。

お：じゃあ、それらの点の軌跡を考えてみるか。じゃあ、GeoGebraを立ち上げてと…

こ：軌跡って、三角形を動かすの？

お：そうそう、むやみに動かすと面倒だから、底辺を固定して、それに向かう頂点を動かしてみようか。A:(-1,0), B:(1,0)として

固定し、動く点Cをどうしようかな。う～ん、ABを直径とする半円周上にとるか。

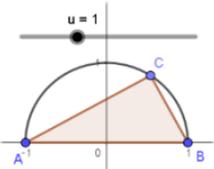


こ：点Cは、「オブジェクト上の点」ツールでとったんだよね。

お：そうそう。他にはね、スライダuとかを設定して、 $(\cos(u), \sin(u))$ とかかしても良いよ。

こ： $0 < u < \pi$ かな。

お：そうだね。その設定に変更しようか。



さあ、5心を作図してごらん。

■ こ：まず、外心Oは辺の垂直二等分線の交点で、1つはy軸で…。

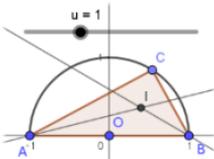
あれ？この場合外心Oは原点だよな。

お：そうだね。外心は△ABCの外接円の中心でもあるからね。

こ：ということは、動かない？

お：軌跡的にはつまらなかったね。

こ：じゃあ、次、内心Iいくね。内角の2等分線を、「角の2等分線」ツールで2本引いて、交点Iが出たけど、Cを動かすには…



お：スライダuを動かしてごらん。

こ：あ！Cが動くと、連動して角の2等分線もIも動いたあ。感動～！

お：Iの軌跡をみるには、Iのプロパティで「残像表示」にして、uを「アニメーションオン」にするんだよ。

こ：軌跡はこんな曲線になるんだね。あっ、マウスで拡大したら残像が消えちゃったよ。

お：消えるね。その軌跡を描いちゃおうか。「垂線」ツールの中の最後に「軌跡」ツールがあるよね。それを使って、I, uと設定すると、

Locus(I, u)となつて、軌跡の曲線が現れるよ。色を変えてと…。

こ：すごい。この曲線は何だろ。

お：その解明は後回しにしようか。

こ：じゃあ、次、重心Gいくね。

同じようにして、こんな半円っぽいのが軌跡として出たけど。

お：いいね。

こ：次は垂心H。

AからBCへ垂線を…。あっ、直角三角形だから、HはCに一致するんだ。

では、傍心Ic。

外角の2等分線を考えて、この青い曲線で良いのかな。

内心Iの軌跡と同じ円の弧のような感じだね。欠けている部分は、もしかするとIA, IBの軌跡が埋めて、全体で円になるのかな。

お：果たしてそうかな？それは後で家で確かめてもらうことにして、GとIの軌跡が正しくは何かを明らかにしようか。まず、重心Gからいこうか。

A, B, Cの座標が分かっているね。

こ：座標か。とすると…、Gの座標は、 $((\cos u)/3, (\sin u)/3)$ だから、半径1/3の半円でOKだね。次はIだけど、これも座標利用かな？

お：Iの場合は、座標は面倒そうだね。角度ツールで、 $\angle AIB$ を測ってごらん。

こ：ええと、 135° で、あっ、uを動かしても角の大きさが変わらない！

お：それを証明すれば円弧が示せるね。

こ：円弧？円周角の定理ということか。

お：証明、簡単だから、後でやってみてね。傍心も多分、同様だと思うよ。

■ こ：これで終了だけど、このままレポートにまとめてもいいのかな？

お：このままレポートにしたら耕太君の課題ではないような感じだから、別の条件で同じようなことを調べてレポートにするのが良いかもね。

こ：別の条件って？

お：例えば $\angle C$ が 60° の場合とか、一般の α の場合とかね。

こ：Cが直線上を動く場合とかも？

お：やってみないと分からないけど、難しそうな軌跡が出てくるかも知れない。そのときは、またメールして。

